

学校教育目標 豊かな心を持ち、主体的な実践力のある子どもを育てる
～すすんで学ぶ子 心豊かな子 たくましい子～

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
育 っ て ほ し い 児 童 の 姿		入学当初の児童の姿 ○自分の思いを言葉にして伝えようとする。 ○友達の見聞に耳を傾けようとする。 ○好奇心が強く意欲が高い児童が多く見られる。 ○小学校生活に不安感が高い児童も見られる。 ○生き物や植物を育てることに関心がある。 ○自分から進んで挨拶することが 苦手な児童がいる。 ○人の話を聞いていなかったり、 わがままで独りよがりな所があったりする。		お兄さん、お姉さんはすごいな。あんなふうになりたいな！もっと知りたい！やってみよう！		自立		成長		【児童の姿の具的】 ① 安心して自分を発揮し、やってみたい ことに向かってがんばる。 ② 新しい学級や学校のルールを受け入 れ、学級の一員として協同的に活動で きる。 ③ 幼児期の学びを生かして、自己肯定感 を高め、主体的に学習に取り組む。		期待する児童の姿 主体的に自己を発揮しながら学び に向かう ○自分の考えを言葉にして伝える。 ○友達の見聞をよく聞き、考えを持つ。 ○譲り合い、助け合いの心を持つ。	
		生活 がっこうとなかよくなるう 【社会生活との関わり・道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い】 ●学校での生活は、様々な人や施設と関わっていることが分かる。 ●学校の施設の様子や学校生活を支えてくれる人々について考えてい る。 ●楽しく安心して遊びや生活をしようとする。 学校探検を中心に各教科と合科・関連を考え、体験か ら学びが始まるようにする。		生活 なつとなかよし 【自立心、思考力の芽生え、豊かな感性と表現】 ●遊びや遊びに使うものをつくる面白さや春から夏 への変化や夏の特徴に気付く。 ●遊びや遊びに使うものを工夫してつくることがで きる。 ●みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする。 「園ではどうだった？」と尋ね、就学前の学び を生かした学習にする。		生活 あきだいすき 【自然との関わり・生命尊重、思考力の芽生え、豊かな感性と表現】 ●遊びや遊びに使うものをつくる面白さや自然の不思議さに気付 く。 ●遊びや遊びに使うものを工夫してつくることができる。 ●みんなと楽しみながら遊びを創りだそうとする。 園児を招待する相手意識をもち、修学前での遊びよりもさらに 工夫できるよう、友達と協力して作品をつくるようにする。		生活 もうすぐ2年生 【健康な心と体、自立心、思考力の芽生え】 ●自分が大きくなったこと、できるようになったこと、役割が増えたことがわ かる。 ●自分のことや自分を支えてくれた人々について考える。 ●これまで支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの成長への願 いをもって意欲的に生活しようとする。 4月の時の自分や園での経験などと比較して、自分の成長に気付けるよ うにする。年長さんが小学校生活が楽しみになるように、わかりやすい 表現で小学校の生活を紹介します。					
幼 児 期 の 遊 び を 通 し た 学 び と 生 活 科 を 中 心 と し た 各 教 科 等 に お け る 単 元 等 の つ な が り		国語 なんていうかな おはようございます。失礼します。 学校探検にきました。		算数 10までのかず 音楽室は1つだね。 タンバリンが6つおいてあったよ。		図工 すなや土となかよし 水をつかうと、砂が固まるよ。保育所 では、砂場に大きな川をつくったよ。		国語 しらせたいな、見せたいな ひろったきれいな落ち葉のことをしらせたいな。		算数 たし算・ひき算 年長さんにおもちゃはいく つ準備すると良いかな？ 得点はどうやって計算する かな。		音楽 「はるなつあきふゆ」 季節の歌がたのしいな。自分た ちで秋のオリジナルソングをつ くりたいな。	
		国語 どうぞよろしく 名刺をつくって、学校探検に もっていきな！		道徳 明るいあいさつ おはようございます。 よろしくお願ひします。		音楽 身の回りの音に耳を澄まそう 水の音やシャボン玉のはじける音 いろんな音が楽しいね。		国語 「つぼみ」 わたしのアサガオにもつぼみがで きたよ。どんなふうに見えるかな？		算数 どちらが長い 友達とつるの長さを比べるには どうしたらいいのかな？		道徳 かぼちゃのつる どの花も気持ちよく大きくなる ように、よくみてあげよう。	
環 境 構 成 （ 人 ・ も の ・ こ と 等 ）		1 安心感を高める環境構成 にこにこタイム ・児童が登校した朝の時間は好きな遊びなどをして過ごせるように、環境を 構成する。 ・児童が園所から学校生活に慣れるまで、約1か月間「にこにこタイム」を 設け、朝の会、読み聞かせ、手遊びや歌あそびなどを行い、児童が友達や先 生と関わりながら学校生活に親しんでいけるようにする。 ・「にこにこタイム」の時間は、児童の実態に合わせて、少しずつ減らしてい く。		2 体験活動や自己表現の場の設定 生活科・行事を中心とした体験活動、自己表現の場の充実 ・生活科を中心として、学校探検、春・夏・秋・冬見つけ、公園遊び、水遊び、砂遊び、秋のものと使ったおもちゃ遊び、昔遊びを実施する。 ・子どもの「見てみたい」を大切に社会見学を行う。 ・学んだことをもとに、子どもと一緒に発表内容を考え発表する学習発表会を実施する。 ・一年間の成長を発表する参観日を行う。		年間を通した環境構成 ・視覚的、に訴える表示で、指示がなくても自分で取り組めるように、見れば分かる・できる支援をする。 ・季節感のあるものや学習内容にリンクしたものを効果的に展示する。 ・児童の成果物を飾り、学習の足跡を残すようにする。 幼保小連携協議会を通し て、カリキュラムの改善を 随時行う。							
		3 人と関わる活動の設定 異学年との交流 ・1学期の間、6年生が朝の時間・給食時間・休憩時間に1年生教室に行き、一緒に遊んだり 給食準備のお手伝いをしたりする。 ・校内ウォークラリー（縦割り班でクイズ・ゲーム大会を実施） ・生活科で、2年生に学校を案内してもらおう（学校探検） ・縦割り班掃除、地域別登校【年間を通して】		異学年や年長児との交流 ・児童会行事（縦割り班での遊び） ・保育所・こども園の年長児との秋のおもちゃで交流 （生活科）		異学年や年長児との交流 ・児童会行事（縦割り班での遊び） ・保育所・こども園の年長児との交流（生活科） →2年生へ向けて、新1年生に小学校のことを伝えよう ・年長児といっしょに遊ぼう。							
連 携	子 ど も	10月 ●3年生と遊ぼう！（大休憩に年長児と3年生があそぶ。） ●5年生との交流（フジバカマを使ったプレゼントを年長児に渡 す。）		11月 ●学習発表会見学（1年生の発表の様子を事前に披露する。） ●秋のおもちゃまつり（生活科で作ったおもちゃを年長児と楽しむ。）		12月 ●新1年生となかよくなるう会（1年生学習発表） ●津之郷フェスタ（3年生とあそぼう②） ●小学校体験入学（年長児が1年生の学習を体験）							
		職員 【通年】 ●連携協議会の実施（実践交流や幼保小に関わる話し合いを行う。）		8月保育参観（保育所・こども園の保育の 様子を小学校の職員が参観し、学ぶ。）		3月一年間の交流のまとめ、来年度の児童連携							
家 庭		○個人懇談 ○気になることなどがあれば、連絡帳、電話などで丁寧に連携する。		○個人懇談		○個人懇談 ○新一年生入学説明会							